

第1回 静岡県交通基盤部優良業務委託表彰式

日時 平成28年11月2日(水)午後1時10分～午後4時20分

場所 三島市民文化会館(ゆうゆうホール) 小ホール

主催 土木事務所等、農林事務所

次第

【第一部】静岡県交通基盤部優良業務委託表彰式(13:10～13:55)

- 1 部長挨拶 静岡県交通基盤部 部長 村松 篤
- 2 主催者代表挨拶 静岡県沼津土木事務所 所長 森田 尚孝
- 3 来賓祝辞 静岡県建設コンサルタント協会 会長 森崎 祐治 氏
- 4 表彰状授与 測量・用地調査等業務部門 (3件)
地質・土質調査業務部門 (3件)
設計業務部門 (10件)
調査・点検等業務部門 (5件)
農業農村整備等業務部門 (3件)
- 5 受賞者代表挨拶 不二総合コンサルタント(株) 近藤 拓己 氏

----- 休憩 10分 -----

【第二部】技術講習会(14:05～16:20)

14:05～14:15	説明:「優良業務表彰制度の創設について」 建設支援局工事検査課 課長 進藤 弘之
14:15～14:35	優良業務事例発表①「国道136号新設インター橋梁設計業務」 榑長大静岡事務所 吉川 英行 氏
14:35～14:50	優良業務事例発表②「浜松五島海岸深淺測量業務」 不二総合コンサルタント(株) 鈴木 高行 氏
14:50～15:05	優良業務事例発表③「ため池山口大池地区設計委託」 榑エイト日本技術開発静岡事務所 野谷 正明 氏
15:05～15:35	講演:「調査・設計業務の品質確保に向けた照査について」 (一社)建設コンサルタント協会 金子 雅明 氏
15:35～15:50	優良業務事例発表④「藤枝天竜線道路改築に伴う地質調査業務」 日本エルダルト(株) 猿田 茂秀 氏
15:50～16:05	優良業務事例発表⑤「巴川治水対策効果検証業務」 日本工営(株)静岡事務所 坂本 俊二 氏
16:05～16:20	優良業務事例発表⑥「下河原橋耐震設計業務」 静岡コンサルタント(株) 田辺 美喜雄 氏

第二部の「技術講習会」は、建設コンサルタント協会及び農業農村工学会 CPD の認定プログラムです。講習会終了後、希望者には受講証明書を発行しますので、受付へ「引き換え券※」をお渡しください。県職員の農業農村工学会 CPD 登録者については、事務局で手続きを行いますので、受講証明書は不要です。

※「引き換え券」の「会社名、氏名、電話番号」欄へ事前に記入した上で提出願います。(その場で記入されると受付が込み合いますので)

第1回 静岡県交通基盤部優良業務委託表彰一覧表 事務所別

番号	部門	事務所	業務名	箇所名	受託者名
1	設計業務	下田土木	平成27年度(国)414号(下河原橋)道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託(13-01)	下田市須原	静岡コンサルタント(株)
2	設計業務	下田土木	平成27年度(国)135号防災・安全交付金(国道トンネル修繕(本体工))に伴う測量・設計業務委託(河津トンネル外)13-05	賀茂郡河津町見高	(株)建設技術研究所静岡事務所
3	調査・点検等業務	熱海土木	平成27年度(国)135号外 防災・安全交付金(橋梁点検)に伴う橋梁定期点検業務委託(13-01)	熱海市東海岸町	(株)東日
4	地質・土質調査業務	沼津土木	平成26年度(一)下土狩徳倉沼津港線道路施設震災対策事業に伴う地質調査業務委託	清水町徳倉	(株)中日本コンサルタント
5	地質・土質調査業務	沼津土木	平成27年度(国)136号 社会資本整備総合交付金(国道道路改築・広域)に伴う地質調査業務委託(2-2号橋)	伊豆市土肥	土屋産業(株)
6	設計業務	沼津土木	平成26年度(国)136号 社会資本整備総合交付金(国道道路改築2次)に伴う設計業務委託(橋梁詳細設計)	伊豆の国市北江間	(株)長大静岡事務所
7	設計業務	沼津土木	平成26年度一級河川黄瀬川河川改良に伴う測量・設計業務委託	裾野市二ツ屋	東亜測量設計(株)
8	設計業務	沼津土木	平成27年度土肥山川支川水口川総合流域防災(砂防)【防災・安全交付金】に伴う設計業務委託(管理用道路橋梁予備設計)	伊豆市土肥	鈴木設計(株)
9	測量・用地調査等業務	富士土木	平成27年度(主)富士宮芝川線道路維持(災害調査費)に伴う用地測量業務委託	富士宮市羽鉾	富士設計(株)
10	設計業務	富士土木	平成25年度(一)富士由比線社会資本整備総合交付金(県道橋梁改築)に伴う設計業務委託(新々富士川橋梁詳細設計)	富士市岩本	(株)オリエンタルコンサルタンツ静岡事務所
11	設計業務	静岡土木	平成27年度静岡海岸高潮対策事業(防災・安全交付金)に伴う設計業務委託(堤防詳細設計中島工区)	静岡市駿河区中島	(株)東京建設コンサルタント静岡事務所
12	調査・点検等業務	静岡土木	平成26年度二級河川巴川 河川調査に伴う治水対策効果検証業務委託(台風18号)	静岡市葵区古庄	日本工営(株)静岡事務所
13	地質・土質調査業務	島田土木	平成27年度(主)藤枝天竜線安全・安心緊急道路対策事業(道路改築)に伴う地質調査業務委託	島田市川根町塩本	日本エルダルト(株)
14	設計業務	島田土木	平成27年度(国)473号 社会資本整備総合交付金(国道道路改築2次)に伴う設計業務委託(道路詳細設計)	島田市大代	不二総合コンサルタント(株)
15	調査・点検等業務	島田土木	平成26年度一級河川大井川 河川調査に伴う環境調査業務委託(河川水辺の国勢調査)	榛原郡川根本町八木	(株)長大静岡事務所
16	測量・用地調査等業務	袋井土木	平成26年度福田漁港 水産生産基盤整備(4種外郭等)汀線・深淺測量業務委託	磐田市豊浜	(株)スルガコンサル
17	調査・点検等業務	袋井土木	平成27年度二級河川太田川 河川調査に伴う河川水辺環境調査業務委託(魚類・底生動物調査)	磐田市福田	国際航空(株)静岡支店
18	調査・点検等業務	袋井土木	平成26年度福田漁港水産生産基盤整備(4種外郭等)に伴うモニタリング業務委託	磐田市豊浜	(株)建設技術研究所静岡事務所
19	測量・用地調査等業務	浜松土木	平成27年度浜松五島海岸海岸養浜事業に伴う深淺測量業務委託(その2)	浜松市南区松島町	不二総合コンサルタント(株)
20	設計業務	浜松土木	平成27年度舞阪漁港漁港施設機能強化(3種係留等)事業に伴う耐震・耐津波診断業務委託	浜松市西区舞阪町舞阪	日本工営(株)静岡事務所
21	設計業務	焼津漁港	平成27年度焼津漁港水産流通基盤整備(特3種外郭)外港北防波堤(改良)工事に伴う基本設計業務委託	焼津市中港	三井共同建設コンサルタント(株)静岡営業所
22	農業農村整備等業務	東部農林	平成27年度障害防止(施設補修)東富士地区設計委託その4	御殿場市水士野	NTCコンサルタンツ(株)静岡営業所
23	農業農村整備等業務	中遠農林	平成27年度県単調査中遠地区設計委託その8	掛川市大淵	(株)共和コンサルタント
24	農業農村整備等業務	西部農林	平成27年度ため池等整備(一般型)山口大池地区設計委託その1	湖西市山口	(株)エイト日本技術開発静岡事務所

第1回 静岡県交通基盤部優良業務委託表彰一覧表 部門別 別紙

番号	部門	事務所	業務名	箇所名	受託者名
1	測量・用地調査等業務	富士土木	平成27年度(主)富士宮芝川線 道路維持(災害調査費)に伴う用地測量業務委託	富士宮市 羽鮒	富士設計(株)
2	測量・用地調査等業務	袋井土木	平成26年度福田漁港 水産生産基盤整備 (4種外郭等)汀線・深淺測量業務委託	磐田市豊浜	㈱スルガコンサル
3	測量・用地調査等業務	浜松土木	平成27年度浜松五島海岸 海岸養浜事業に伴う深淺測量業務委託(その2)	浜松市南区 松島町	不二総合 コンサルタント(株)
4	地質・土質調査業務	沼津土木	平成26年度 (一)下土狩徳倉沼津港線 道路施設震災対策事業に伴う地質調査業務委託	清水町徳倉	(株)中日本 コンサルタント
5	地質・土質調査業務	沼津土木	平成27年度(国)136号 社会資本整備総合交付金 (国道道路改築・広域)に伴う地質調査業務委託(2-2号橋)	伊豆市土肥	土屋産業(株)
6	地質・土質調査業務	島田土木	平成27年度(主)藤枝天竜線 安全・安心緊急道路対策事業(道路改築)に伴う 地質調査業務委託	島田市 川根町塩本	日本エルダルト(株)
7	設計業務	下田土木	平成27年度(国)414号(下河原橋) 道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託(13-01)	下田市須原	静岡コンサルタント(株)
8	設計業務	下田土木	平成27年度(国)135号防災・安全交付金 (国道トンネル修繕(本体工))に伴う 測量・設計業務委託(河津トンネル外)13-05	賀茂郡 河津町見高	㈱建設技術研究所 静岡事務所
9	設計業務	沼津土木	平成26年度(国)136号 社会資本整備総合交付金(国道道路改築2次) に伴う設計業務委託(橋梁詳細設計)	伊豆の国市 北江間	(株)長大 静岡事務所
10	設計業務	沼津土木	平成26年度一級河川黄瀬川 河川改良に伴う測量・設計業務委託	裾野市 二ツ屋	東亜測量設計㈱
11	設計業務	沼津土木	平成27年度土肥山川支川水口川 総合流域防災(砂防)【防災・安全交付金】に伴う 設計業務委託(管理用道路橋梁予備設計)	伊豆市土肥	鈴木設計(株)
12	設計業務	富士土木	平成25年度(一)富士由比線 社会資本整備総合交付金(県道橋梁改築)に伴う 設計業務委託(新々富士川橋橋梁詳細設計)	富士市岩本	(株)オリエンタルコンサルタンツ 静岡事務所
13	設計業務	静岡土木	平成27年度静岡海岸 高潮対策事業(防災・安全交付金)に伴う 設計業務委託(堤防詳細設計中島工区)	静岡市 駿河区中島	(株)東京建設コンサルタント 静岡事務所
14	設計業務	島田土木	平成27年度(国)473号 社会資本整備総合交付金(国道道路改築2次)に伴う 設計業務委託(道路詳細設計)	島田市大代	不二総合 コンサルタント(株)
15	設計業務	浜松土木	平成27年度舞阪漁港 漁港施設機能強化(3種係留等)事業に伴う 耐震・耐津波診断業務委託	浜松市西区 舞阪町舞阪	日本工営(株) 静岡事務所
16	設計業務	焼津漁港	平成27年度焼津漁港水産流通基盤整備(特3種外郭) 外港北防波堤(改良)工事に伴う基本設計業務委託	焼津市中港	三井共同建設コンサルタント(株) 静岡営業所
17	調査・点検等業務	熱海土木	平成27年度(国)135号外 防災・安全交付金 (橋梁点検)に伴う橋梁定期点検業務委託(13-01)	熱海市 東海岸町	㈱ 東日
18	調査・点検等業務	静岡土木	平成26年度二級河川巴川 河川調査に伴う 治水対策効果検証業務委託(台風18号)	静岡市葵区 古庄	日本工営(株) 静岡事務所
19	調査・点検等業務	島田土木	平成26年度一級河川大井川 河川調査に伴う 環境調査業務委託(河川水辺の国勢調査)	榛原郡 川根本町八木	(株)長大 静岡事務所
20	調査・点検等業務	袋井土木	平成27年度二級河川太田川 河川調査に伴う 河川水辺環境調査業務委託(魚類・底生動物調査)	磐田市福田	国際航業(株) 静岡支店
21	調査・点検等業務	袋井土木	平成26年度福田漁港水産生産基盤整備 (4種外郭等)に伴うモニタリング業務委託	磐田市豊浜	㈱建設技術研究所 静岡事務所
22	農業農村整備等業務	東部農林	平成27年度障害防止(施設補修)東富士地区設計委託その4	御殿場市 水士野	NTCコンサルタンツ㈱ 静岡営業所
23	農業農村整備等業務	中遠農林	平成27年度県単調査中遠地区設計委託その8	掛川市大淵	(株)共和コンサルタント
24	農業農村整備等業務	西部農林	平成27年度ため池等整備(一般型)山口大池地区 設計委託その1	湖西市山口	(株)エイト日本技術開発 静岡事務所

受賞業務委託の概要

下田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度 [第 27-D8300-01 号] (国) 414 号 (下河原橋) 道路施設震災対策事業に伴う設計業務委託 (13-01)
履 行 期 間	平成 27 年 11 月 26 日 ~ 平成 28 年 3 月 17 日
業 務 概 要	橋梁耐震補強設計 1 式 上部工性能照査 1 式、落橋防止システム設計 1 式 補修設計 1 式
受 託 者 名	<small>しずおか</small> 静岡 コンサルタント 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 架設年次：昭和 61 年 (適用示方書 S55) ・ 橋長 L=21.0m、斜角 (A1 : 35° 17' 09"、A2 : 48° 20' 00") ・ 第 1 次緊急輸送路 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>受託者は、当該橋梁及び現地の特性等を把握することで、業務の課題等を列挙し、また、その対応方針を随時提案するなどの効率的な業務完了に努めた。</p> <p>受託者は受発注者合同の現地調査時に、橋梁の部位一つ一つを確認しながらの具体的かつ解りやすい調査を通じて、参加者全員の情報共有を図るなどの準備に努め、的確な現地調査を実施した。また、成果物取りまとめについては、道路橋示方書等の引用転記に際して、①その解説まで記述する。②重要な点は図表等にまとめ理解し易くする。などの工夫を凝らしていた。なお、水平力分担部材の工事実施の留意について、現場着手前の再測及び既存 R C 構造物削孔箇所[○]の管理に関する注意点を設計図面へ明記するなどして、設計の現場再現に役立つ業務委託に努めた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>県庁橋梁班との協議 (耐震補強方法 (水平力分担構造について)) を遅滞なく実施し、余裕をもって業務を完成させた。(8日間短縮)</p>

受賞業務委託の概要

下田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度（国）135 号 防災・安全交付金（国道トンネル修繕（本体工））に伴う 測量・設計業務委託（河津トンネル 外）13-05
履 行 期 間	平成 27 年 8 月 5 日 ～ 平成 28 年 3 月 15 日
業 務 概 要	河津トンネル、見高浜トンネル 覆工背面空洞調査 2 トンネル 電磁波レーダー探査 2 トンネル 補修設計（裏込注入工） （漏水対策工） （はく落防止対策工 等）2 トンネル
受 託 者 名	<small>けんせつぎじゅつけんきゅうじょ</small> （株）建設技術研究所 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】 この業務は、（国）135 号河津トンネルと見高浜トンネルの中で、健全度Ⅲ及びⅣとして判定されたスパンの補修設計である。 業務の内容は、補修工法となる①裏込注入工、②漏水対策工、③はく落防止対策工についてそれぞれ検討し、過年度に実施した覆工表面の点検結果を再精査したうえでの補修必要箇所を選定することに加え、覆工天端と左右の 3 箇所を電磁波レーダー探査し、覆工背面の空洞に対する空洞補修設計である。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】 一般的な空洞注入設計は、コスト、施工性、耐久性等から可塑性エアモルタルを採用するが、当該トンネルが有する①覆工が非常に薄い、②湧水が非常に多い、③近接店舗及び住宅地への配慮といった厳しい諸条件を細かく整理したうえで、発泡ウレタン（40 倍）の採用を提案する等、合理的な資料作成及び説明に努めた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】 河津トンネルの下田市側坑口には、ガソリンスタンド及び旅館等が近接しているため、沿道施設の営業に配慮した交通規制による調査が求められた。このため、受託者は、沿道者と入念な調整を重ね、苦情等のトラブルのない業務委託を完了させた。</p>

受賞業務委託の概要

熱海土木事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成27年度 [第27-D7201-01号] (国) 135号外 防災・安全交付金 (橋梁点検) に伴う橋梁定期点検業務委託(13-01)
履 行 期 間	平成27年 8月 1日 ~ 平成27年 12月18日
業 務 概 要	計画・準備 N=18 定期点検 (近接目視、損傷の評価及び記録、健全性の診断) N=25 報告書作成 N=25
受 託 者 名	株式会社 <small>とうにち</small> 東日
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>静岡県橋梁点検マニュアル改訂版に基づき、熱海土木事務所が管理する橋梁について点検を行い、橋梁の損傷及び変状を早期に発見し、安全かつ円滑な交通を確保するとともに、沿道や第三者への被害の防止を図るため、橋梁に係る効率的な維持管理に必要な基礎資料を得ることを目的とする。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>履行期限内に業務を完了させるため、特記仕様書に示された当該業務内容を十分理解し、業務に必要な有資格者を活用し、着手前に各橋梁の特徴を把握した、入念な作業計画を策定した。</p> <p>実施にあたって、点検作業における近接目視の工夫や損傷の補修工法を検討する評価及び記録等は、質の高い成果となった。よって、調査・点検等業務の部門において評価に値するため、推薦する。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>当該調査地点は、1日交通量約2万台の幹線道路で DID 地区にあたるため、着手前の交通規制を含む作業計画は、橋梁毎の綿密な計画策定が必要となった。併せて、地形や沿道条件などから橋梁点検車の作業に限界がある点検個所について受託者は、民地への乗入れ調整やポールカメラを使うなどの工夫に努めた。これらの取り組みの結果、調査中の交通事故やトラブルも無く、質の高い点検業務を円滑に履行した。</p>

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	地質調査部門
業 務 委 託 名	平成 26 年度 (一)下土狩徳倉沼津港線 道路施設震災対策事業に伴う地質調査業務委託
履 行 期 間	平成 27 年 2 月 7 日 ~ 平成 27 年 6 月 30 日
業 務 概 要	機械ボーリングφ66 N=2 本 (L=67m、L=68m 計 L=135m) 標準貫入試験 N=135 回
受 託 者 名	株式会社 <small>なかにほん</small> 中日本 コンサルタント
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省が管理する一級河川狩野川内での地質調査である。 ・既設ボーリングデータから複雑な土層の成層状態であることが予想された。 ・鋼管矢板基礎の基盤面となる土層の確定、施工方法の決定のための高度な考察が求められた。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度実施のデータも踏まえて各土層の粒径分布、混入物、風化具合、孔壁の状態などを確認し、複雑な土層に対し、過去の地質推定線の見直しを提案するなどの的確かつ高度な考察が、橋梁設計に大きく役立った。 ・複雑な地層状況について、予定している基礎形状に沿った展開図を作成することで、地層が入り組んでいる状況を解り易く示したため、関係者の情報共有を容易にした。 ・地質推定線の修正に伴う支持層位置の見直し並びに大深度部分と中間層部分の巨礫に対応する工法提案など、良く考察されていた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直轄河川内の地質調査であり、出水時の退避など施工時間を含んだ条件を限定される中、事前の気象状況の把握及び作業の迅速化により、深度 70m 近い地質調査を円滑に実施した。

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	地質調査部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度（国） 1 3 6 号社会資本整備総合交付金 （国道道路改築・広域）に伴う地質調査業務委託（2-2号橋）
履 行 期 間	平成 27 年 6 月 20 日 ～ 平成 27 年 10 月 30 日
業 務 概 要	地質調査業務 3 箇所 機械ボーリング 38m 標準貫入試験 38 回 三軸圧縮試験 2 試料 土の pH 試験 2 試料
受 託 者 名	つちやさんぎょう 土屋 産 業 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>施工中の直接基礎形式橋台の支持地盤について、予想していなかった脆弱な熱水変質帯が露出したため地盤支持力の不足が判明した。急ぎ直接基礎から杭基礎に修正設計する基礎資料を得るための追加ボーリング調査であり、緊急に調査する必要があった。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ入念な現地踏査および火山地形の把握により、複雑に分布・傾斜している熱水変質帯を解析した地質断面図を作成した。 ・強酸性土壌が確認されたため、工事施工時に必要となる酸性土の残土処分方法について検討を行った。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な熱水変質帯の地盤定数の設定にあたり、トンネルやダム在地質解析で使用されている「緩み領域※」を設定して、脆く柔らかい脆弱な変質地盤と硬質な変質地盤を分類することにより、変質していても硬質な深部の地盤を適正に評価した。 ・土肥拡幅 2-2 号橋は、平成 29 年度の供用開始を目指して事業中である。軟弱層の発現といった突発的な事態に対して、速やかな調査着手および地質断面図を短期間に作成したことにより、橋台工事の遅延を最低限に抑えることができた。 <p>※緩み領域という単語は、従来はトンネルやダムにおいて、掘削の伴う応力解放により、岩盤が緩む現象に対し用いられてきたが、近年では自然斜面の表面が風化により緩んだ状態も含むようになった。</p>

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 26 年度 [第 26-D0957-01 号] (国) 136 号社会資本整備総合交付金 (国道道路改築 2 次) に伴う設計業務委託 (橋梁詳細設計)
履 行 期 間	平成 27 年 3 月 28 日 ~ 平成 27 年 9 月 25 日
業 務 概 要	橋梁詳細設計 N=1 式 (本線橋、ON ランプ橋、OFF ランプ橋)
受 託 者 名	株式会社 ^{ちょうだい} 長大 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交差条件 : 交差する市道および河川から桁下高の制限あり。 ・ 地盤条件 : 軟弱な粘性土層が主体で、中間層に 200mm 程度の玉石が確認される。支持層は GL-50m 程度の凝灰角礫岩。 ・ 施工条件 : 施工時は現況交通を確保。また、各橋梁は近接しているため、狭隘部での施工となる。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連業務、関係機関との連携 : 取付道路や地盤改良範囲など、橋梁の施工計画や擁壁等への影響が大きいため、道路の明かり部分工事計画と連携した施工順序、取合部の調整を図った。また、工事施行者となる静岡県道路公社との打ち合わせや協議を密に行い、情報の共有化を図るとともに、道路等の他の設計者等とも密接に協議し、各工法や施工計画の妥当性について検証した。 ・ コスト縮減 : 基礎形式に、残土の発生を抑えられる回転圧入鋼管杭工法を採用した。また、仮設ヤード下への仮排水管設置によって、仮棧橋案と比べて有利なコストとなる仮設工を提案した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に困難な条件を克服 : 限られたスペースの工事のため、工程表と対比・関連付けた施工ステップ図を作成することで工事の輻輳を防ぐとともに、設備計画を考慮した工区割に役立てることができた。 ・ 事業遂行への貢献 : 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技開催会場 (ベロドローム) へのアクセス道路となることから、本線橋及び ON ランプ橋の仮設工を一体化し、橋台・橋脚の同時施工を可能とした工程を提案し、予備設計と比べ 1 年短縮した全体工程計画を立案することで、オリンピック前の確実な供用開始を可能とする優れた成果物をまとめた。

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 26 年度 一級河川黄瀬川 河川改良に伴う測量・設計業務委託
履 行 期 間	平成 26 年 8 月 30 日 ～ 平成 27 年 10 月 30 日
業 務 概 要	護岸詳細設計 L=0.15 km 現地測量 A=0.025 km ² 、 路線測量 L=0.16 km
受 託 者 名	<small>とうあそくりょうせつけい</small> 東亜 測量 設計 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DID 地区内の護岸未整備区間について、地区要望もあった護岸整備による治水と、自然を活かした多自然川づくりの両立が求められた。 ・ 上下流は急勾配のブロック積護岸で定型化された断面であるが、多自然川づくりのため、定型断面に捕らわれない発想が求められた。 ・ 溶岩を主とする変化に富んだ河床・流れを有しており、現地踏査における綿密な調査とそれを踏まえた滞筋や淵、瀬の保全など、きめ細やかな設計が求められた。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多自然川づくりを十分理解し、優れた多自然を創出するため、精緻な現地踏査で滞筋、淵、河畔林など現況把握を行い、設計上の重要箇所と留意するポイントを明確にした。 ・ 河道拡幅に際しては、滞筋を保全することで河川環境の大規模な改変を抑えた。護岸設計は、護岸の高さをHWL以下と余裕高とに分割することや管理道の分離によって、河畔林の保全を図るなど柔軟かつ熟慮された提案がされた。 ・ 多自然川づくりや景観に配慮し、構造物の細部にわたる明度の抑制、構造物表面処理の統一、護岸の勾配変化の円滑化、親水護岸における親水シンボルの設置など、細部と全体を統合させて設計した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定型の定規断面にとらわれることなく、既存の河畔林や滞筋をできる限り残すため、複数の設計案に対しての不等流計算を何度も繰り返し、最適断面を求め、多自然川づくりの思想を具現化する設計案を追求した。

受賞業務委託の概要

沼津土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度土肥山川支川水口川 総合流域防災（砂防） 【防災・安全交付金】に伴う設計業務委託（管理用道路橋梁予備設計）
履 行 期 間	平成 27 年 8 月 22 日 ～ 平成 28 年 3 月 14 日
業 務 概 要	橋梁予備設計 N=1 式 橋長 L=8.9m、幅員 W=4.0m（全幅 5.2m）
受 託 者 名	<small>すずきせつけい</small> 鈴木設計 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防管理用道路における渡河箇所への橋梁予備設計 ・工事用進入路となる市道の最小幅員が 2.6m 程度と狭いうえ、人家が連担しているため拡幅は困難である。 ・基礎地盤の地質は GL-5.45 まで N 値 30 未満、GL-5.45 以深の N 値は 30 以上となる。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務において発生した問題点・課題等を的確に把握し、打合せ時に報告されるとともに、協議資料を速やかに作成した。 ・橋種の比較検討において、ボックスカルバートを提案するなど、高いコスト意識と柔軟な技術提案によりコスト縮減及び工期短縮を図った。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事用進入路が狭隘であるため、現場に搬入できる建設機械及び資材に制限があった。このため、現場施工の適否や難易度などの施工検討を行った上で、比較案 5 案を選定した。 ・比較検討において杭基礎を要する橋梁形式に加え、直接基礎での採用が可能なボックスカルバート案も加えて比較検討を行った結果、ボックスカルバート案が採用となり、橋梁案に比べ約 4 割のコスト縮減と約 3 カ月の工期短縮が可能となった。 ・これにより、当該管理用道路を工事用進入路として使用し施工を予定している既設砂防えん堤改築工事の早期着工が可能となり、事業効果の早期発現が期待される。

受賞業務委託の概要

富士土木事務所

部 門	測量・用地調査等業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度（主）富士宮芝川線 道路維持（災害調査費）に伴う用地測量業務委託
履 行 期 間	平成 26 年 10 月 8 日 ～ 平成 28 年 1 月 22 日
業 務 概 要	用地測量 用地測量：A = 16,000m ² 、境界確認：A = 2,600m ² 協議書作成（公共用地境界確定協議）：L = 0.17km
受 託 者 名	ふじせつけい 富士設計株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>当該業務委託は、平成 26 年 10 月 5 日から 6 日の台風 18 号により被災した旧市町境（富士宮市一芝川町）付近の（主）富士宮芝川線（富士宮市羽鮒（はぶ）地内）道路（法面）災害復旧事業に伴う用地測量業務委託である。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>地形の険しい山間部の地形要件もあって、業務着手後、公図と確定図の不一致が判明した。急遽必要となった法務局との協議の中で、現状と公図との照合に必要な広範囲の追加測量作業を求められた。そこで受託者は、直ちに業務体制を見直すとともに、スタッフを増員し、短い期間で現地測量を完了させた。また、分筆錯誤修正に必要な地図訂正資料を的確かつ迅速に作成し、法務局との調整・協議を円滑に進めることで、災害復旧事業工程に資する、優れた成果物をまとめた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>公図と確定図の不一致による、買収対象地の実測面積と公簿面積に差が生じるといったデリケートな問題を解決するため、解り易い地権者用の説明資料を作成し、困難な境界確定に貢献した。</p> <p>この結果、用地買収契約を速やかに締結することができたため、崩土除去（仮復旧）後、速やかに法面崩壊の本復旧工事に着手できたことから、不安定であった道路法面对策を短い期間で復旧し、通行車両の安全・安心と利便性を確保することができた。</p>

受賞業務委託の概要

富士土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 25 年度（一）富士由比線社会資本整備総合交付金 （県道橋梁改築）に伴う設計業務委託（新々富士川橋橋梁詳細設計）
履 行 期 間	平成 26 年 3 月 18 日 ～ 平成 28 年 2 月 29 日
業 務 概 要	橋梁詳細設計 1 橋 鋼 7 径間連続鋼床版箱桁、L = 741.5m、曲線形 橋梁上部工設計、下部工 8 基設計、仮設工設計
受 託 者 名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ <small>しずおかじむしよ</small> 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>当業務委託は、（一）富士由比線の新々富士川橋における鋼 7 径間連続鋼床版箱桁橋の詳細設計である。直轄河川管理者との河川協議を重ねながら、水理解析及び模型実験結果を踏まえた個々の下部工形状等の検討及び径間毎に異なることとなる長さの違いを考慮した上部工構造の検討など、高度な技術力を必要とする業務委託である。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>直轄河川管理者との河川協議で、新たな水理解析（右岸水衝部の影響等）が必要条件とされた。この問題に対して、当該業務委託を契約している担当支社に加えて、他支社の水理関係専門部署との連携を図った、会社の総力を挙げた業務問題の解決に取り組んだことにより、優れた成果物をまとめた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>当該業務委託を通じた河川管理者との協議を比較的短い期間で完了し、工事着手する予定であったが、新たに課せられた水理解析条件から、河川協議の長期化が心配された。そこで受託者は、業務の問題を再度見直し、これに応じた業務体制の強化と改善に努めることで履行期限の遅れを防ぎ、早期の工事着手に貢献した。</p> <p>また受託者は、連続径間の見直しによって、予備設計と比べ約 2% のコスト削減を図る設計を提案するなど、想定を超える高度な技術力で、困難な業務を円滑に完了させた。</p>

受賞業務委託の概要

静岡土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成27年度 [第26-K5023-01号] 静岡海岸高潮対策事業 (防災・安全交付金) に伴う設計業務委託 (堤防詳細設計中島工区)
履 行 期 間	平成27年 8月28日 ~ 平成28年 2月15日
業 務 概 要	海岸堤防詳細設計 L=919m 付帯施設設計 階段 N=7 基 、 坂路 N=3 基
受 託 者 名	株式会社 <small>とうきょうけんせつ</small> 東京建設コンサルタント 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の第4次地震被害想定や津波対策施設の必要堤防高(変更公表)を満足するよう(静岡海岸を対象に)既往耐震対策予備設計成果に加え、最新の知見を踏まえ堤防嵩上げ等が必要な区間の液状化の検討及び詳細設計を行う。 ・前浜の保全、自転車道の利活用状況、光ケーブルの埋設状況、背後地の土地要件等から既設堤防を活用した粘り強い堤防嵩上げ実施計画を策定する。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>同時期に同様の業務について、複数の受託者が履行した中で、他社にはない以下の取組みが優れている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 県マニュアルが無い中、東北被災三県での復旧実務経験を生かし、最新知見を設計に反映させるなど、他社をリードしながら業務を履行した。 ② 現場に即した堤防の安全性、自転車道の利活用、景観の保全等多角的な視野で技術提案を行った。また、堤防の安全性、信頼度を向上させるため、詳細な外力評価に関する技術的な提案を行った。 ③ 東北被災事例、国総研の構造実験の最新知見を用いた越流水による洗掘事象に対して、裏法基礎工構造を比較検討し、より粘り強い最適案をまとめた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北被災三県で同種業務に携わった技術者を配置し、関連業務の円滑な遂行と調整・連絡等を担った。 ・県内の他事務所の同種業務事例のコンセプトを(既発注済の業務設計思想・考え方)把握・比較検討して、成果品の向上につなげた。 ・工事発注後も発注者、施工業者との情報の共有化を図るとともに、施工上の問題解決に取り組むなど、事業に貢献している。

受賞業務委託の概要

静岡土木事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成 26 年度 二級河川巴川 河川調査に伴う治水対策効果検証業務委託（台風 18 号）
履 行 期 間	平成 26 年 11 月 18 日 ～ 平成 27 年 7 月 31 日
業 務 概 要	流出解析モデルの構築及び検証 1 式 河川施設の効果検証 1 式
受 託 者 名	<small>にほんこうえい</small> 日本工営株式会社 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二級河川巴川水系を対象とした、平成 26 年台風 18 号洪水の気象、水象、被害状況等を分析するとともに、台風 18 号実績降雨の流出解析を行い、整備済み河川施設の治水対策効果を検証する。 ・流出解析モデルの作成にあたっては、平成 26 年台風 18 号の実績水位、流量等と対比することでモデルの妥当性を確認する。 ・検討結果を踏まえ、流域における課題を抽出するとともに、流域の治水安全度向上に寄与する浸水被害軽減対策をまとめる。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで巴川流域の治水検討は、外水氾濫モデルを採用してきたが、台風 18 号による浸水被害は、主に巴川の水位上昇に伴う内水被害であった。このことを踏まえた受託者は、巴川の水位上昇と連動した下水道施設をモデル化するなどといった、内水氾濫を把握できる内外水一体型モデルを提案・採用した検討の結果、優れた成果物をまとめた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二級河川巴川は「特定都市河川浸水被害対策法」に基づく「巴川流域水害対策計画」を策定している。河川施設に下水道施設を加え、既存の公共施設を活用した雨水貯留施設による流域対策の適正なモデル化に努めることで、治水対策に貢献した。 ・巴川流域は、遊水地、放水路、内水排除施設、雨水貯留施設など、様々な治水対策が講じられ、複雑な出水形態を呈している。受託者は、台風 18 号の出水特性をよく再現し、各施設における効果的な対策等に資する資料作成に努めた。

受賞業務委託の概要

島田土木事務所

部 門	地質・土質調査業務部門
業 務 委 託 名	平成27年度 [第27-D4824-01号] (主) 藤枝天竜線 安全・安心緊急道路対策事業 (道路改築) に伴う地質調査業務委託
履 行 期 間	平成 27 年 12 月 15 日 ~ 平成 28 年 2 月 29 日
業 務 概 要	φ66mm 機械ボーリング 1 箇所 L=10.0m 解析業務 一式 標準貫入試験 6 回、簡易動的コーン貫入試験 6 箇所 合計 9.6m
受 託 者 名	<small>にほん</small> 日本 エルダルト 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>本業務は、道路拡幅の工法選定に必要な地質情報を入手するため、隣接工区の調査資料も活用した、最低限の調査数となる1箇所のボーリング調査による地質調査業務である。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>受託者は、初回の打ち合わせ時から業務の目的を十分把握し、設計者が必要とする地質情報について相互に確認し、効率的な業務を遂行した。また、調査時に見出した亀裂が多い、風化した頁岩地層に起きやすい欠落等の問題点を設計者に適切に伝達し、設計成果の安全性・確実性を向上させた。</p> <p>業務着手後、ただちに地表踏査を実施し、迅速に調査対象事項を抽出したことで、円滑に設計者との情報の共有化を図った。さらに、機動性や経済性に優れた簡易動的コーン貫入試験の追加実施を提案し、地質情報の面的な展開性を高めるなどの優れた成果物をまとめた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>今回の地質調査業務は、設計業務と同時に展開し、業務手順や時期を整合することが求められていた。受託者は、設計者が必要とするデータ等をわかりやすく客観的に整理することで、事業進捗に貢献した。また報告書には、地質構成はもとより設計計算に必要な地盤諸値、支持層分布特性、工法検討上必要な地盤特性、設計対象区間の山側斜面からの小岩塊流出や崩積土砂流出に対する地質的な危険性等について項目別に整理したことなど、設計者が気づかない留意点を網羅していた。</p> <p>以上のように、現地の状況を的確に把握し、道路拡幅構造物設計にジャストタイムで利用できる、質の高い優れた業務委託であった。</p>

受賞業務委託の概要

島田土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度 [第 26-D0951-01 号] (国) 473 号 社会資本整備総合交付金 (国道道路改築 2 次) に伴う 設計業務委託 (道路詳細設計)
履 行 期 間	平成 27 年 9 月 2 日 ~ 平成 28 年 3 月 11 日
業 務 概 要	道路詳細設計 0.6Km (4 車線)、平面交差点詳細設計 1 箇所 用地測量 200m ² 道路規格 : 第 4 種 1 級、設計速度 : 60 km/h
受 託 者 名	ふじそうごう 不二総合コンサルタント 株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>当該業務は、(国) 473 号 (島田市竹下地区) 4 車線化に伴う道路詳細設計である。都市計画決定済みの設計対象区間は (市) 島竹下線の拡幅計画及び大井川鉄道五和構内踏切の影響も考慮する設計業務・調整・協議が必要となる。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>業務実施にあたり、都市計画決定に対する整合性、(市) 島竹下線の道路拡幅計画との整合、大井川鉄道五和構内踏切の影響による停止位置の調整や滞留長の確保などが求められた。また交差点設計においては、予備設計時の交差点協議が終了している案件であっても、工事着手前の再協議を要求するなどして、計画の変更を迫るケースも多発している為、今回の業務の中でも所轄との協議を慎重に進め、手戻りを防ぐ成果物をまとめた。</p> <p>業務打ち合わせ時には、省令等の根拠を一目でわかりやすくまとめる工夫や、イラストや図を効果的に使用するなど、打合せ協議を効率的に進める工夫が優れていた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>五和駅前交差点で国道と交差する市道管理者の島田市は、交通の円滑化、交通安全向上を図るため、交差点と五和構内踏切との連動信号を強く望んでいた。残念ながら、所轄の費用工面困難などから連動信号の実施目途はたたなかった。そこで受託者は、ベストではないものの暫定案を市に対して提示するなど、事業推進に資する業務を展開した。</p>

受賞業務委託の概要

島田土木事務所

部 門	調査・点検等業務 部門
業 務 委 託 名	平成 26 年度 一級河川大井川 河川調査に伴う環境調査業務委託（河川水辺の国勢調査）
履 行 期 間	平成 26 年 9 月 27 日 ～ 平成 27 年 9 月 25 日
業 務 概 要	本業務委託大井川河川水辺の国勢調査 計画準備、事前調査、現地調査計画検討 現地調査（魚介類調査 3 地点×3 回（夏季、秋季、春季）） 底生動物調査 3 地点×3 回（夏季、秋季、春季）
受 託 者 名	株式会社 ^{ちょうだい} 長大 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>本業務委託は、国の河川水辺の国勢調査マニュアルに基づき、①事前調査、②現地調査計画の策定、③現地調査・分析、④調査結果とりまとめ、⑤考察・評価、⑥報告書の作成、の手順で実施することとし、要点毎に河川水辺の国勢調査アドバイザー等学識経験者等の聞き取り調査により、調査結果の信頼性・確実性の確保も行うこととしている。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>学識者への聞き取り調査に際しては、根拠となる文献資料（JR：リニア環境調査報告書、静岡市：大井川上流環境調査報告書等の最新資料を収集し反映）を基に現地調査計画書を提案した。過年度調査（5 年前）の中で懸案とされていた調査箇所・方法及び時期について受託者は、「調査箇所を滞筋の移動や濁度の影響の少ない箇所へ変更する。」「新たな捕獲手法（釣り）を追加する。」「春期調査では雪解け直後の水温低下期間（水生動物の活動が低下する期間）を避ける。」等の工夫に取り組んだ結果もあって、ニホンウナギの存在を 15 年ぶりに確認するなど、より多様な生物の実態調査にふさわしい業務として、学識者から高い評価を得た。また、調査地区・時期・回数・調査方法・留意すべき法令等への措置、等々が的確に整理され、学識者からの修正意見がなかった。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>⑤考察・評価及び⑥報告書の作成に際して受託者は、単純な過年度調査結果との対比に加え、生息する水生生物の生活型（移動性・固定性）及び A S P T 値*による評価も取り入れた確認種の比較を行った。この工夫に対して学識経験者から「水生生物の生息種と河川環境の関連性から観る新たな指標である。」との高い評価を得た。このような調査を履行したことは、本県の水辺の国勢調査の向上に大きく貢献したといえる。</p>

* A S P T 値：河川の水質状況に加え、周辺地域も併せた総合的な河川環境の良好性を示す指標。値は 1 から 10 まで、1 に近いほど汚濁の度合いが大きく周辺の開発が進むなど人為影響が大きい河川とされ、逆に値が 10 に近いほど汚濁の度合いが小さく自然状態に近いなど人為影響の少ない河川とされる。

受賞業務委託の概要

袋井土木事務所

部 門	測量・用地調査業務部門
業 務 委 託 名	平成 26 年度[第 26-V1510-01 号]福田漁港 水産生産基盤整備（4 種外郭等）汀線・深浅測量業務委託
履 行 期 間	平成 26 年 6 月 7 日 ～ 平成 27 年 6 月 30 日
業 務 概 要	縦断測量 L=1.0km、横断測量 L= 41.8km、水深測量 L=141.0km 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパス事業に伴う、福田漁港から浅羽海岸の汀線の経年変化を確認するための測量業務委託。
受 託 者 名	株式会社スルガコンサル
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】 測量の範囲・延長・実施時期等は、福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステムの運転状況、及び、サンドバイパスシステム検証委員会の審議に柔軟かつ迅速に対応することが求められる。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】 汀線・海底・土量の変化等を多面的な視点で捉え、図表等の作成を工夫し、土砂の移動状況を容易に判別できるように工夫した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="443 1160 826 1417"> </div> <div data-bbox="853 1160 1449 1440"> </div> </div> <p style="text-align: center;">太田川河口部の等深線 測量時期による地形変化</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】 変化要因を的確に把握するためには測量実施時期がポイントとなる。そこで受託者は、厳しい海象条件のなか工程管理を入念に行い、追加調査を含めて適切な現地測量を実施した。この結果、土砂移動の要因が、サンドバイパスシステムの運転効果や台風の波浪等によるものと把握できた。</p> <p>当業務と後年度の測量業務の結果より、サンドバイパスシステムの運転による太田川河口部の局所的浸食と浅羽海岸の局所的堆積傾向が認められた。事業効果を検証するうえでの重要なデータ・成果物をまとめた受託者の貢献度は高いものがある。</p>

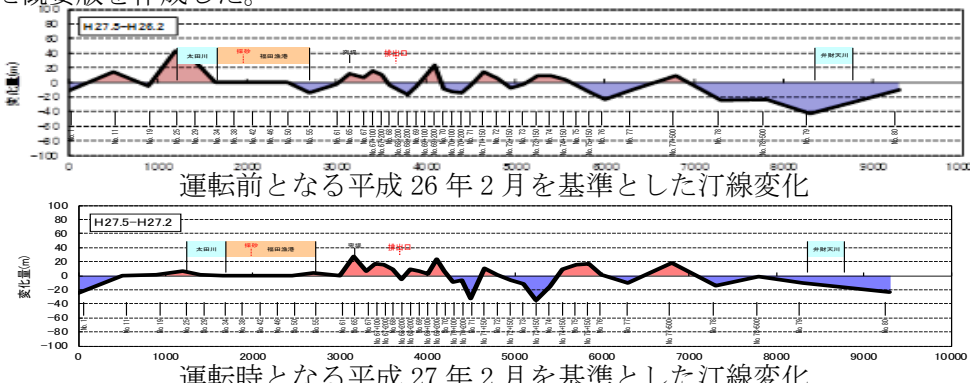
受賞業務委託の概要

袋井土木事務所

部 門	調査業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度[第 27-K1542-01 号]二級河川太田川 河川調査に伴う河川水辺環境調査業務委託（魚類・底生動物調査）
履 行 期 間	平成 27 年 5 月 27 日 ～ 平成 27 年 10 月 30 日
業 務 概 要	河川・水辺の国勢調査業務 魚類調査 N=1 業務（9 地点、1 回） 底生動物調査 N=1 業務（9 地点 1 回）
受 託 者 名	<small>こくさいこうぎょう</small> 国際航業 株式会社 静岡支店
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>「河川・水辺の国勢調査」の一環として、二級河川太田川水系の魚類・底生動物の生息実態調査について、「平成 18 年度版 河川水辺の国勢調査マニュアル基本調査編【河川編】」に基づいて調査する。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>本調査業務の中で受託者は、通常の業務計画書に加えて、詳細な現地調査計画書を作成することにより、着手段階からの適切な対応につなげた。また、事前の現地踏査等によった、調査箇所ごとの特性に応じた適切な調査方法を選定するとともに、調査時期にも配慮したことから、過去最多の多様な水生生物を確認することができた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>河川水辺のアドバイザーが多忙といった理由などから、ヒアリングの日程調整などでも数週間を費やすという厳しい状況であったが、アドバイザーからの指示を受け、複数回にわたる特定魚種の確認調査を行うことが必要となった。受託者は、調査体制の見直しを重ねることなどで、履行期限間際に指示された絶滅危惧種であるスナヤツメの生息調査についても、柔軟かつ迅速に対応し、その生息を確認した。このような困難な生息確認調査に取り組みながらも、履行期限内に無事業務を完了させ、優れた成果物をまとめた貢献は大きい。</p>

受賞業務委託の概要

袋井土木事務所

部 門	調査・点検等業務部門
業 務 委 託 名	平成 26 年度[第 26-V1510-01 号]福田漁港 水産生産基盤整備（4 種外郭等）に伴うモニタリング業務委託
履 行 期 間	平成 26 年 8 月 30 日 ～ 平成 27 年 7 月 31 日
業 務 概 要	環境影響調査 1 式（アカウミガメ、シラス、生物環境） 測量結果考察 1 式（水質・底質、航路埋没対策・養浜効果の検証） 福田漁港サンドバイパス事業の試験運転に伴う周辺環境への影響を調査・考察し、検証委員会に諮る資料等の作成業務
受 託 者 名	けんせつぎじゅつけんきゅうじよ (株)建設技術研究所 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステムの試験運転前後で調査を実施することから、運転計画との綿密な摺合せが必要となる。</p> <p>また、関係団体等とのヒアリングや各生物相への専門的な知見が求められるとともに、検証委員への説明及び関心の高い地元住民等に対する、わかりやすい資料作りが求められる。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>図表等を用いて調査結果・考察を簡潔明瞭にまとめることで、解り易い、優れた概要版を作成した。</p>  <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>本調査を基にして、サンクチュアリ N.P.O. や漁協への的確な説明資料を受注者がまとめたことから、今後のサンドバイパスシステム本格運転の進捗に役立った。これら業務成果によって、通年での運転に対する不安が解消されるとともに、検証委員会の中で今後のモニタリング計画の方針をまとめることができた。</p>

受賞業務委託の概要

浜松土木事務所

部 門	測量・用地調査等業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度 [第 27-K5401-01 号] 浜松五島海岸 海岸養浜事業に伴う深浅測量業務委託 (その 2)
履 行 期 間	平成 27 年 8 月 13 日 ~ 平成 28 年 3 月 25 日
業 務 概 要	海岸深浅測量 (水面幅 W=1500m、水深=10m) 29 測線×年 2 回 汀線測量 (縦断) L=8.4km 、汀線測量 (横断) L=10.4km
受 託 者 名	ふじそうごう 不二総合コンサルタント株式会社
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <p>当業務は、浜松五島海岸の侵食状況及び養浜実施による海岸の変化を把握するための深浅測量、汀線測量業務である。</p> <p>深浅測量では、水底部の地形を明らかにするため、音響測深器及びネットワーク型 RTK-GNSS 測量機を装着した船舶で、測点の沖合 2000 mから誘導ソフトを用いて陸に向かって進行し、水深・測深位置・船位・水位・潮位の 1 秒間隔の情報を取得し、横断面図データを作成し、これをもとに横断図ならびに等深線図を作成する。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>受託者は、離岸堤周辺の作業船が離岸堤に衝突するリスクや不規則な波の影響による転覆のリスクなどを克服しつつ、陸上作業と海上作業の狭間の未測深部の解消を図るため、NETIS 登録のリモコンボートを提案し、使用することで、データ欠測箇所を無くすとともに、安全かつ精度の高い測量を実施した。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>当業務の測量時期は、強風や高い波浪といった厳しい気象条件となりやすい台風時期後の秋期及び冬期であった。受託者は、特に作業可能日が限られる冬期調査の中、的確に気象状況を把握し、安全作業に取り組んだことなどで、①遅れなく業務を遂行したこと。深浅測量周辺に多くの漁業船が行き交う中、漁の状況を確認しながら②事故なく安全に行った測量作業によって、海岸変化の把握に役立つ成果物をまとめた。</p>

受賞業務委託の概要

浜松土木事務所

部 門	設計業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度舞阪漁港 漁港施設機能強化（3 種係留等）事業に伴う 耐震・耐津波診断業務委託
履 行 期 間	平成 27 年 7 月 9 日 ～ 平成 28 年 3 月 25 日
業 務 概 要	臨港道路の性能照査 N=1 施設 L1 地震動の耐震・耐津波性能照査 N=1 式 L2 地震動の耐震・耐津波性能照査 N=1 式
受 託 者 名	<small>にほんこうえい</small> 日本工営株式会社 静岡事務所
	<p>【業務の諸条件】</p> <p>当該業務は、耐震強化岸壁に準ずる岸壁（西ノ山岸壁）に接続する道路として、耐震強化岸壁に準ずる岸壁と同等の性能※を確保できるよう性能規定に対する地震時及び津波時の安定性照査である。</p> <p>※L2 震動によって構造物に発生する損傷が限定的なものにとどまり、軽微な補修により早期に機能が回復できるものとする。</p> <p>L2 地震動は SPGA50%非超過地震動（南海トラフ巨大地震）とした。 L2 地震動の安定性照査は 2 次元地震応答解析（FLIP）により実施した。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <p>過年度実施した隣接施設の照査結果を踏まえた上で、臨港道路全体の地震時及び津波時について考察を加え、性能規定及び整備水準の整合等を的確にまとめた優れた成果物を報告した。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に大きい地震動（SPGA50%非超過）を用いての L2 地震動の安定性照査（FLIP）であったため、解析結果が発散しないようなモデル構築を行った。 ・業務途中に示された「漁港・漁場の施設の設計参考図書」の内容についても、柔軟かつ迅速に対応した照査業務に努めた。 ・当該施設は、昭和 59 年～平成 4 年まで段階的に施工されている。受託者は、施工年時の異なる成果物等を適切に整理しまとめたことで、今後の設計及び維持管理に貢献した。

受賞業務委託の概要

焼津漁港管理事務所

	設計業務部門
	平成27年度焼津漁港水産基盤整備（特3種外郭） 外港北防波堤（改良）工事に伴う基本設計業務委託
履 行 期 間	平成27年 7月 2日 ～ 平成28年 3月 25日
業 務 概 要	外港北防波堤 基本設計 1式 安定性の照査 3ケース L1津波 地震動の決定及び対策工検討 2ケース L2津波 粘り強い構造検討 1ケース
受 託 者 名	<small>みついきょうどうけんせつ</small> 三井 共同 建設 コンサルタント 株式会社 静岡営業所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外港北防波堤について、「静岡県第4次被害想定策定会議」で設定する地震動・津波のうち、L1津波を生じさせる地震動を算定し、この外力に対する安定性を照査する。 ・改良案について、L1津波に対する耐震・耐津波の要求性能を満足する対策工法を複数案抽出し、適正な形状を決定する。 ・さらに、L2津波による影響及び外力算定における不確実性も考慮した条件をまとめ、粘り強い構造を複数案抽出し、この抽出案に検討を加え、最適案を求める。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算出したL1津波を生じさせる地震動（設計水平震度が最大となるケース）に対する安定照査は、地形条件等の正確な再現に努めることで、精度の高い成果物をまとめた。 ・担当する技術者は、打ち合わせ時に高い技術力と知見を活かしたわかりやすい比較検討資料を提示・説明することで、最終的な成果がスムーズに導かれる最適案を、合理的にまとめた。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <p>「漁港・漁場の施設の設計参考図書（水産庁）」改訂を受けた、本県「漁港施設の耐震設計について」は、契約後3ヵ月以上経過した平成27年10月20日（漁港整備課通知）となった。発注者の条件提示の遅れにもかかわらず、①国の動向注視及び情報収集 ②柔軟かつ迅速な業務体制の構築 に努めた結果、履行期限内に優れた業務を完了させた。</p>

受賞業務委託の概要

東部農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度障害防止(施設補修)東富士地区設計委託その 4
履 行 期 間	平成 27 年 6 月 30 日 ~ 平成 28 年 6 月 22 日
業 務 概 要	太陽光発電施設整備事業計画策定 1 箇所
受 託 者 名	<small>えぬていーしー</small> N T C コンサルタンツ株式会社 静岡営業所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東富士演習場周辺農業整備施設補修事業において、造成された基幹水利施設の維持管理費軽減が課題となっており、対策の一環として、太陽光発電を利用した施設整備の事業計画を策定する。 御殿場市他 1 市 1 町に設置された農業用施設（調整池 3 5 箇所）内において、立地条件や経済性等から太陽光発電施設の適地を選定し事業規模を決定する。 太陽光発電による売電収入等により、維持管理費の軽減を図ることを目的とする。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電施設の設置検討では、堤体法面や調整池水面を活用した全国の先進的な事例等を積極的に収集するとともに、候補地の詳細な現地調査を実施し、精度の高い比較検討により、想定発電量に対する費用対効果に優れた発電施設の設置位置、規模等を決定した。 報告書は、図や表が適切に使用され視覚的に見やすく表現されている。また、対国、地元に対して事業効果等を的確にわかりやすく説明することが可能な資料を作成した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高い情報収集能力による豊富な知識と入念な現地調査を基に、建設及び維持管理費を極力抑えた事業計画を策定した。 費用対効果分析に関する基準が無い中、農水省の総合耐用年数を採用した手法を提案し、的確な費用対効果分析を行った。 <p>以上のように、事業効果の妥当性を的確に示した、優れた計画を策定した受託者の貢献度は高いものがある。</p>

受賞業務委託の概要

中遠農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度県単調査中遠地区設計委託その 8
履 行 期 間	平成 27 年 12 月 10 日 ～ 平成 28 年 3 月 22 日
業 務 概 要	海岸保全施設（大溝川樋門）整備構想設計 1 式 事業計画概要書作成（計画図面作成、概算工事費積算等）1 式
受 託 者 名	株式会社 <small>きょうわ</small> 共和 コンサルタント
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 6 1 年に普通河川大溝川河口に設置された大溝川樋門を更新するための概略設計及び海岸施設整備保全事業の採択に必要な事業計画概要書を作成する。 ・当該施設は、経年劣化により機能低下が進行しており、高潮や津波等の被害を確実に防止するための更新整備が必要となっている。 ・概略設計のため、既存資料の活用を前提に事業計画書を作成する。 <p>【他の模範となり優れているポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設建設時から年数が経ち、既存資料が不足する中、受注者は補完的な現地踏査や測量を積極的に行い、設計・積算の精度を高め、質の高い成果物を作成した。 <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設当時に比べ、流域内の土地利用が大きく変化していたことから、詳細な現地踏査を行い、現況の土地利用を正確に把握した上で、精度の高い排水系統図を作成し、流出量の見直しを行った。 ・現地踏査の結果、樋門及び海岸堤防付近の地形が大きく変化していることが判明したことから、測量を実施し、より正確な現況断面図の作成に努めた。 ・基礎形式を検討するに当たり、既存の地質調査結果から樋門近傍の液状化判定と残留沈下量の計算を行う必要性を提案した。 <p>以上のように、現地の状況を的確に把握し、精度の高い計画書を作成することにより、事業採択に向けて大きく貢献した。</p>

受賞業務委託の概要

西部農林事務所

部 門	農業農村整備等業務部門
業 務 委 託 名	平成 27 年度ため池等整備（一般型）山口大池地区 設計委託その 1
履 行 期 間	平成 27 年 6 月 24 日 ～ 平成 28 年 2 月 29 日
業 務 概 要	山口大池（農業用ため池）の改修工事における実施設計 n = 1 箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・レベル 2 地震動に対する耐震性能照査（動的応答解析）1 式 ・洪水吐改修工事実施設計 1 式 ・堤体下流部漏水対策工事実施設計 1 式
受 託 者 名	株式会社 エイト <small>にほんぎじゅつかいはつ</small> 日本技術開発 <small>しずおかじむしょ</small> 静岡事務所
受 賞 理 由	<p>【業務の諸条件】 湖西市の山口大池は、昭和 47 年に全面改修が行われたが、洪水吐の断面不足と堤体下部の液状化層により、洪水吐の改修及び堤体の耐震対策が必要となっている。</p> <p>また、「ため池整備指針」の平成 27 年度改訂に基づき、堤体の耐震対策工法について、レベル 2 地震動に対する耐震性能照査を実施する。</p> <p>【他の模範となり優れているポイント】 レベル 2 地震動に対する耐震性能照査においては、高度な専門知識に基づき「動的応答解析」を内閣府南海トラフ巨大地震、静岡県第 4 次被害想定等、想定されるケースにより適切に実施し、精度が高く、堤体の沈下量等の解析結果が視覚的にわかりやすい成果物をまとめた。</p> <p>【特に困難な条件を克服または事業遂行への貢献】 レベル 2 地震動に対する照査実施後に着手した堤体耐震対策工事において発生した対策工法の位置変更について、安定計算を含めた設計変更作業を迅速に行い、工事の円滑な進捗に貢献した。</p> <p>また、堤体下流部の漏水対策については、丁寧かつ迅速な現地調査の結果、早期に電気探査による漏水原因調査を提案することによって、落水後の速やかな調査実施を可能とし、引き続き着手した堤体耐震対策工事の工程への影響を最小限に留める等、優れた工程管理により事業の進捗に貢献した。</p>